ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金沢北ロータリークラブ
例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：卯辰山・ホワイトハウス
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
TEL〈0762〉22-2525
会長：若野三朗　幹事：吉山宥海
情報委員長：清水　忠

1979・3月29日 第137号

"原子力発電の必要性"

北陸電力能登原子力建設準備事務所
南　彰夫氏

昭和48年の石油ショックで日本の経済、日常生活は、石油の上に浮いた状態である事を国民は思い知らされた。

今、イラン情勢によって第二の石油危機に直面し、政府はエネルギー5％節約を打ち出し石油の消費にブレーキをかけはじめた。

しかしエネルギー輸入依存度88％、なかでも石油のそれが100％に近い我が国として、いくら節約政策を推めても今後の経済成長率を考えた時合、現在のエネルギーだけでまかなう事は出来ない。石油に代わるエネルギーの確保が重要な問題となって来る。

それでは替エネルギーはといえば、水力・石炭・地熱などは環境やコストの面であまり多くは望めないし、太陽エネルギーや核融合となると研究段階に入ったばかりで実用化は未だ先の事である。とすれば今日あるエネルギーを保ち、供給出来るもの、それは原子力エネルギーしか考えられない。

今、電力を見た場合、我が国で運転中の原子力発電所は18基、総電力の10％を賄ってさらに17基が建設中か準備中である。

立地をめぐり安全性の問題が議論されているが、発電所から出す放射能は自然界に存在するその量よりも比較にならない低いものである事を十分理解していただきたい。

将来のエネルギーのなかだちとしての原子力発電、その役割を期待するものである。

－金沢北RC例会講話から－（文責　米沢修一）

ふるさとシリーズ〝橋〟

⑬下田上橋（浅野川）

昭和33年生まれのコンクリート橋。
毎日、何回となくゴミを満載した収集車がこの橋を往来する。行先は排水浄化施設を備える戸室新保埋め立て場で、東部西部の清掃工場で処理できないゴミを集める。
広大な谷間は450万トンの容積を持ち後7～8年は使用可能という。
年々増加する金沢市のゴミ排出、この橋は金沢の街を美しくするという、真に生活の橋といえよう。

私の名刺

石川　栄治

私は一昨年６月、国鉄東金沢駅前（小坂町）に三階建の事務所をもつ、三菱電機㈱北陸商品営業所長としてご当地に参ったものであります。

当社はご周知の通り総合電機メーカーであり取扱品目が大は発電機から小は蛍光ランプに至るまで生産して居りますため、営業所を二つに分けて営業を行って居ります。ひとつは地域名を冠した「北陸営業所」と他のひとつは「北陸商品営業所」と呼称し、商品と名のつく営業所が、家電品や住設照材品や機器製品（モーター・配電盤等）を販売する拠点となっています。

いずれも、北陸三県を営業テリトリーとして居ります。（「北陸営業所」の拠点は富山市にあります）

近頃、三菱電機は家電分野で「ふとん乾燥機」を始めとし、昨年の「石油ガス化ファンヒーター」或は今年世界で始めて発表した、レコードを立ててまわす「たてコン」等々数多くのヒット商品を出し、皆様方から絶大なるご愛顧を頂いて居るところであります。

さて、それでは少しく私の経歴について申し述べておきます。

私は昭和27年大学を卒業すると同時に三菱電機に入社し、名古屋製作所から、昭和30年本社販売企画部・商品企画部・販路開拓部・商品販売部・販売促進部・商品営業部と本社販売スタッフを16年間にわたってつとめ、家電ブーム時代を本社ですごしました。昭和46年名古屋商品営業所家電営業部長代理として第一線に出まして４年２ヶ月の歳月を送りました。
昭和50年２月名古屋にて家電営業部長に昇進しましたが、同年８月、再び本社へ戻り宣伝部次長という分野で２ヶ年間を宣伝活動に専念し、一昨年６月、再度第一線にカンバックして北陸の地に参上いたしたわけであります。

従いまして、特に三菱電機の中にあっても家電分野を中心として、販売企画・販売促進・販売網販売教育・販売助成・広告宣伝等の仕事にたずさわる期間が長かったわけであります。

今般ご当地に参り、大変助かったのは県名が私の氏名と同一であるということであります。〝石川県を栄えて治める〟という氏名であるからであります。これは富山県・福井県には通用いたしません。それだけに今日私が、当地で所長である間、北陸商品営業所を全国一の当社の営業所とし、黄金時代を築き度いと念願して居ります。そのことは何よりも私どもの商品を通じてこの地域社会に役立つよう努力することだと考えて居ります。

そうした意味で今般、金沢北ロータリークラブへ入会いたしました。新参者ではありますが、何卒皆様方の変らざるご指導ご鞭撻をお願い申し上げる次第であります。

ロータリーニュース

交換学生　大村一史君アメリカへ

国際奉仕の青少年交換学生プログラムとして、当クラブ大村精二君の長男、大村一史君（金沢桜丘高校一年在学）が、国際ロータリー第712地区・アメリカ・ニューヨーク州・カレドニアーマンフォードRCのホストにより、カレドニアーマンフォードセントラルスクールへ４月より一年間留学することに決定しました。
出発は４月６日頃の予定です。

ロータリー随想

折　柳　枝

清　水　　忠

ことしも別れの季節が来た。春３月、転勤や卒業や就職やで人が動きはじめるようになると、私はきまって折柳枝という言葉を思い起す。

二千年の昔、中国の都長安では、旅立つ人を、まちのはずれにあった灞橋(はきょう)まで見送って、橋の袂の揚柳の枝を贈り、別れを惜しむならわしがあったという。

〝渭城(いじょう)の朝雨軽塵をうるおす。客舎青々として柳色新らたなり〟という王維の有名な詩には、折柳枝といういかにも東洋人らしい、心のかようたこの別れの情景がうたわれている。

かれこれ25年前、大阪へ就職する私を、友人たちは、金沢の浅野川の中の橋の袂で、このようにして見送ってくれた。数年後に、浅野川や犀川の大水害を異郷で聞いた時、私が真先に思ったのはあの柳の木が流れなかっただろうかということだった。その老木は、川面に映る歴史の流れを静かに見つめながら、今もなお悠揚として生き続けている。

一日、柳煙のもやった中の橋にたゝずみながら、私は思った。

〝折柳枝〟という他愛のない仕草が、なぜ美しいのだろうか。

考えて見ると、柳絮舞う晩春も、烈日に技のしだれる盛夏も、そして霏々とした風雪に枝葉の凍る厳冬をも超えて、今再び青芽を吹き出そうとする春３月の老柳の姿、その下で哀歓をこめて別離を惜しむ人間の姿、そこに私たちが見るものは、時の流れという時間と人間の深いかゝわりの世界である。

ジエット機が地球の裏を短時間で結び、テレビが遙か異国のニュースを瞬間に伝え、技術が時間をかけない経済の成果をもたらしている。いってみれば時間のない空間だけの世界に住む現代のわれわれにとって、それ故にこそ、時間への思慕が激しくつのって来たということだろうか……。

私の思いがたゆとう時、柳の向いの民宿から若いカップルが飛び出して来た。そしてさり気なく柳の木の下でお互いをカメラに納めて旅立っていった。

私は深い感動を憶えた。

歴代、国際ロータリー会長の指針

1954～55年度　ハーバートJ. テイラー（米国）

1．過去の研究を将来に生かせ。
2．ロータリーを他に分け与えよ。
3．四つのテストを強調せよ。
4．ロータリアンが青少年の模範に。
5．国際間の理解と親善に前進せよ。
6．善きロータリアンは即ちよき市民である。

修練委員会

第 273 回例会

◆ 3月15日㈭雨　12:30～13:30　ホワイトハウス

1．講　　話　金沢北RC会員　釣見栄一君

2．出　　欠　出席46名、欠席９名、出席率83.64%
ビジター18名

3．来 訪 者　輪島RC　田中勇次君(観光業)
富岡RC　半谷寿康君(ホテル業)
金沢RC　小松嘸一君、織田義夫君
岩喬君、冨木昭光君、竹内和男君
金沢東RC　塩原弥吉郎君
山上嘉久君、深井正敏君
金沢西RC　瀬戸弥一君、渡辺超君
佃武夫君、松本隆夫君
金沢南RC　諸江汎君、綿谷一郎君
柿木英夫君、新家常男君

4．幹事報告 ○ヨバリンダRCとの交換絵画を3月30日～4月4日迄名鉄丸越８階ギャラリーにて展示します。
○本日例会終了後理事会を開きます。

5．ニコニコBOX
○3月4日卓球大会にて１位と３位をいただいて　佃一成君
○誕生日祝　小林隆二君
○母の古稀の祝　飯野健志君

6．今日のニュース　難航を続けてきたエジプト＝イスラエル平和条約締結交渉は調印促進のため精力的な調停を進めていたカーター米大統領の新提案によって妥結する見通しとなった。
世界から見て中東和平達成の画期的成果だが両国にとって真の和解はこれからだ。

理　事　会　報　告

３月15日㈭　ホワイトハウス
出席者　14名

■ 5RC合同役員会報告

○「現代美術展」後援の件
○ロータリー75周年記念委員長選任の件
○会員子弟の集いの件
○事務局慶弔規定の件
○ガバナー事務局設置補助金の件

■ 委員会報告

○国際奉仕委員会
児童絵画交換展
○友好委員会
京都洛北ＲＣの金沢訪問は昭和55年５月３日～５日の内に予定する。
○職業奉仕委員会
卓球大会結果報告

■ その他

慶弔規定改正→親睦委員会にて検討

第 274 回例会

◆ 3月22日㈭雨　12:30～13:30　ホワイトハウス

1．講　　話　「原子力をめぐる諸情勢」

北陸電力能登原子力建設準備事務所技術課長
南彰夫氏

2．出欠
出席43名、欠席12名
出席率78.18%
ビジター21名

3．来訪者
東京麹町RC
樋口宗雄君(映画製作)
金沢RC　岡田信治君、西永掃部君
南定雄君、碓井貞敏君
金沢東RC　高桑清君、野瀬明美君
片岡伝二君、竹松俊孝君
増井常吉君、岡田義明君
冨久尾堅君
金沢西RC　松本外次君、渡辺超君
中村吉輝君、黒川存君
綾塚修司君、角永豊治君
宗広満夫君、辻昭夫君
金沢南RC　田畑富生君、中山博君

4．幹事報告　国際ロータリー認証状伝達式
滑川RC
日時　昭和54年５月20日㈰午後１時
場所　滑川市民大ホール

5．委員会報告
○交換学生として当クラブ大村君長男、大村一史君（金沢桜丘1年）は712地区アメリカ・ニューヨーク州・カレドニアーマンフォードロータリークラブへ１年間留学します。
○ベルギー派遣学生今度当クラブより４名の割当あり、希望者をつのります。

6．ニコニコBOX
○３月21日誕生日でした　本江他美夫君
○次女京都大学、三女金大附属高校入学清水忠君
○３月27日誕生日でした。モリワン８号店開店　橋場幸一君

7．今日のニュース　トンネル大惨事
谷川岳の下を打ち抜く世界最長の上越新幹線・大清水トンネル（全長22.2キロ）内で溶接機を使って削岩機の解体作業中火災が発生、猛煙にまかれた作業員16名が次々に倒れ悼ましい犠牲となる。安全面でも長界一となってもらいたいものだ。